



澤博 撮影 撮影年不明

写真展

長万部写真道場 **プラス** ローカル・カラーの時代

2019年

2月19日(火)～3月17日(日)

午前10時から午後6時まで(木曜日は午後8時まで) 月曜日 休館 入場無料

会場: 長万部町学習文化センター ロビー

主催: 北海道開拓写真研究協議会 共催: 長万部町
後援: 長万部町教育委員会、長万部写真道場研究所
協力: 株式会社 社匠建設、函館アイヌ文化研究会



長万部町学習文化センター
北海道山越郡長万部町字長万部411番地216
MAPコード: 521 045 578*48
長万部駅より徒歩10分/駐車場あり
電話: 01377-2-5757

第2回写真フォーラム
北海道と
写真のつらなり
2019年
2月24日(日) 午後1時30分から
入場無料(申込不要/入退場自由)
会場: 長万部町学習文化センター
文化ホール

展覧会にあたって

「長万部写真道場」は戦後間も無い1951年に北海道・長万部町で発足した写真愛好家集団です。彼らは、昭和期を代表する写真家・土門拳(1909-1990)の提唱したリアリズム写真運動の影響を強く受けながら、長万部町の開墾の様子や先住民の暮らしに関心を寄せ、被写体の一人一人の生き様や変わりゆく町の姿に価値を見出し、地域に根ざした視点で集团的に撮影を続けたアマチュア写真家たちでした。今回は、昨年の展覧会で紹介した長万部写真道場写真群のほか、道場の副会長・澤博(1924-2012)が遺したカラーポジフィルムの中から新たなイメージをご紹介します。また、昭和初期に長万部町民がアイヌ文化保存を呼びかけ発行した写真絵葉書「アイヌ古代風俗エカシケル絵葉書」(函館中央図書館所蔵)を複製で展示します。

第2回写真フォーラム 北海道と写真のつらなり

写真展に関連して、戦前・戦後を跨いで絶え間なく撮影されてきた北海道の写真について知り、郷土の文化資源としての写真資料の価値を再検討するフォーラムを開催します。

2月24日(日) 13:30から 入場無料(申込不要/入退場自由) 長万部町学習文化センター 文化ホール

※悪天候等により内容を変更または開催日を延期する場合があります。
その場合は、北海道開拓写真研究協議会ホームページ、学習文化センター内掲示板で変更内容をお知らせします。

13:30 開会式

第一部 基調講演

題目：明治・大正期の北海道・写真 残された写真から

講演者：大下 智一 氏 (北海道立近代美術館学芸企画課長)

(休憩)

14:20 第二部 パネルディスカッション

テーマ：北海道・歴史・写真を捉えなおす

パネリスト 大下 智一 氏 (北海道立近代美術館学芸企画課長)

大友 真志 氏 (写真家)

倉石 信乃 氏 (明治大学理工学研究科総合芸術系教授)

モデレーター 中村 絵美 (北海道開拓写真研究協議会代表)

15:30 閉会式



大下 智一 (おおした ともかず) 北海道立近代美術館学芸企画課長

1967年函館生まれ。北海道立函館美術館在職中から北海道明治・大正期の初期写真に関する展覧会を企画するほか、函館市中央図書館をはじめとする写真調査を行う。写真関連の展覧会として、東京都写真美術館が中心となり函館にも巡回した「夜明けまえ 日本写真開拓史 北海道・東北編」展(2013年)、「幕末・明治の戦争イメージ」(2014年)に携わる。ほか、執筆物に『田本研造——その生涯と業績』(photographers' gallery press no. 8 2009年)など。



大友 真志 (おおとも まさし) 写真家

1978年北海道北広島市生まれ。東京・新宿にあるphotographers' galleryを拠点に活動。photographers' gallery press no. 8(田本研造特集号)では責任編集をつとめる。写真集『GRACE ISLANDS——南大東島、北大東島』(KULA)を2011年に出版。



倉石 信乃 (くらいし の) 批評家/明治大学理工学研究科総合芸術系教授

1963年生まれ。専門は近現代美術史・写真史。1988-2007年、横浜美術館学芸員として「マン・レイ」展、「ロバート・フランク」展、「中平卓馬」展、「李禹煥」展などを担当。写真批評の著作により、1998年重森弘淹写真評論賞、2011年日本写真協会賞学芸賞を受賞。著書に『反写真論』(1999年)、『スナップショット——写真の輝き』(2010年)など。『沖縄写真家シリーズ[琉球列像]』(未来社、全9巻)を仲里効と監修。

北海道開拓写真研究協議会 <http://hsp-web.jp.org/>

2017年に正式発足した任意団体。北海道には戦後復興期に北海道の風土と生きる人々の姿を捉えた写真が各地に残されています。これを調査し、関係者間の情報ネットワークを構築すること、展覧会やイベント等を実施すること、またフォトアーカイヴ形成の専門的ノウハウを共有することで、北海道の人々が写真の価値を共有し、文化的な財産として将来につなげていくきっかけを育むための活動を行っています。

【お問合せ】北海道開拓写真研究協議会 メール：info@occ-lab.org 電話：080-5595-7038 (代表/中村)

